

プロトコール名 大腸癌 CPT-11+アバステン療法

適応 治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌

投与期間 2週を1コースとして、効果がある限り継続

投与計画

薬剤名	基準量
アバステン	5 mg/kg
カンプト	150 mg/m ²

UGT1A1遺伝子検査結果

年 月 日

-/-

:減量不要

-/*6 又は -/*28

:減量不要

*6/*6 又は *28/*28 又は *6/*28 :70%量を目安に減量

薬剤名	投与量	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
アバステン	5mg/kg		↓													
カンプト	150mg/m ²		↓													

- ①生食100ml(ルートフラッシュ用)
- ②グラニセトロン1B+オルガドロロン4A(30min)
- ③生食100ml+アバステン 5mg/kg (* 初回90min、2回目60min、3回目以降30minに短縮可)

投与前後、生食にてルートフラッシュ

- ④生食500ml+カンプト 150mg/m² (90min)
- ⑤生食50ml (5min)

生食100ml	グラニセトロン オルガドロロン 30分	アバステン 生食100ml *	カンプト 生食500ml 90分	生食50ml 5分
---------	---------------------------	-----------------------	------------------------	--------------

アバステンは生食で希釈すること

出血・塞栓症状に注意すること
創傷治癒遅延を起こすため、手術からの間隔を確認すること

●休薬・減量基準

・次表の基準を参考に、減量・休薬をおこなうこと

白血球数	3000/mm ³ 以上で実施可能
血小板数	10万/mm ³ 以上で実施可能
尿蛋白	2+以上でアバスタチンの継続について確認